

# 危機管理連絡会議

日 時：平成 27 年 5 月 28 日（木）16 時 00 分から

場 所：県庁 4 階 405 会議室

## 協議事項

- 熱中症対策について
- デング熱等蚊媒介感染症の注意喚起について
- マダニが媒介する感染症（「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」、「日本紅斑熱」）の注意喚起について

都道府県別熱中症による救急搬送状況

都道府県		平成27年4月27日～5月24日(合計速報値)											
		年齢区分(人)					初診時における傷病程度(人)						
		新生児	乳幼児	少年	成人	高齢者	合計	死亡	重症	中等症	軽症	その他	合計
1	北海道	0	0	1	0	9	10	0	0	2	7	1	10
2	青森県	0	0	6	3	7	16	0	0	8	7	1	16
3	岩手県	0	0	2	4	22	28	0	0	9	19	0	28
4	宮城県	0	1	11	19	16	47	0	0	24	23	0	47
5	秋田県	0	0	6	8	14	28	0	2	11	15	0	28
6	山形県	0	0	14	10	16	40	0	5	7	26	2	40
7	福島県	0	2	18	16	35	71	0	0	14	57	0	71
8	茨城県	0	0	8	15	23	46	0	2	11	33	0	46
9	栃木県	0	3	2	21	11	37	0	2	9	26	0	37
10	群馬県	0	1	5	8	16	30	0	0	8	22	0	30
11	埼玉県	0	1	20	47	55	123	0	4	38	81	0	123
12	千葉県	0	3	6	29	27	65	0	2	26	37	0	65
13	東京都	0	5	20	44	34	103	0	3	32	68	0	103
14	神奈川県	0	2	11	24	32	69	0	2	24	43	0	69
15	新潟県	0	2	9	15	27	53	0	2	15	32	4	53
16	富山県	0	0	2	6	7	15	0	1	7	7	0	15
17	石川県	0	1	4	3	11	19	0	2	5	12	0	19
18	福井県	0	1	2	7	9	19	0	1	7	11	0	19
19	山梨県	0	0	7	5	9	21	0	1	7	13	0	21
20	長野県	0	2	7	12	24	45	1	0	20	24	0	45
21	岐阜県	0	0	5	19	10	34	0	0	10	24	0	34
22	静岡県	0	0	9	7	28	44	0	0	12	32	0	44
23	愛知県	0	3	12	31	55	101	1	1	33	66	0	101
24	三重県	0	0	2	9	15	26	0	0	4	19	3	26
25	滋賀県	0	0	4	11	8	23	0	1	6	15	1	23
26	京都府	0	0	7	21	44	72	0	0	14	58	0	72
27	大阪府	0	1	16	27	26	70	0	0	16	54	0	70
28	兵庫県	0	3	6	25	34	68	0	3	11	53	1	68
29	奈良県	0	1	3	5	21	30	0	0	9	21	0	30
30	和歌山県	0	1	3	8	11	23	0	2	4	17	0	23
31	鳥取県	0	0	2	1	7	10	0	0	3	7	0	10
32	島根県	0	0	1	5	11	17	0	0	9	8	0	17
33	岡山県	0	0	8	13	35	56	0	0	15	40	1	56
34	広島県	0	0	7	10	33	50	0	0	22	28	0	50
35	山口県	0	0	3	4	7	14	0	1	5	8	0	14
36	徳島県	0	0	0	8	15	23	0	1	5	13	4	23
37	香川県	0	0	4	13	9	26	0	1	10	14	1	26
38	愛媛県	0	0	5	3	7	15	0	0	4	11	0	15
39	高知県	0	0	1	2	13	16	0	1	5	10	0	16
40	福岡県	0	2	25	19	17	63	0	3	31	28	1	63
41	佐賀県	0	0	6	9	14	29	0	1	10	18	0	29
42	長崎県	0	0	5	7	5	17	0	0	1	16	0	17
43	熊本県	0	0	15	12	27	54	0	1	18	35	0	54
44	大分県	0	0	6	8	8	22	0	0	14	8	0	22
45	宮崎県	0	1	5	6	12	24	0	0	7	17	0	24
46	鹿児島県	0	0	1	7	10	18	0	3	7	8	0	18
47	沖縄県	0	0	14	21	19	54	0	0	4	43	7	54
合計【人】		0	36	336	607	905	1,884	2	48	573	1,234	27	1,884
割合		0.0%	1.9%	17.8%	32.2%	48.0%	100.0%	0.1%	2.5%	30.4%	65.5%	1.4%	100.0%

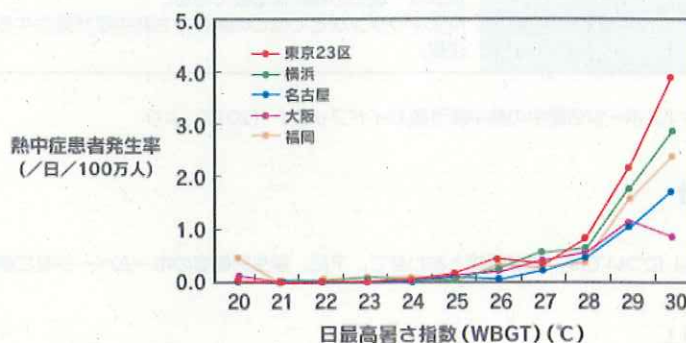
\* 救急搬送状況は、最新のデータを使用していますが、あくまでも合計速報値です。後日修正されることもありますのでご了承ください。

\* 合計速報値とは、速報値と暫定値をあわせたデータのことです。

## 暑さ指数(WBGT)とは？

### ●暑さ指数とは？

暑さ指数 (WBGT (湿球黒球温度) : Wet Bulb Globe Temperature) は、熱中症を予防することを目的として1954年にアメリカで提案された指標です。単位は気温と同じ摂氏度(°C)で示されますが、その値は気温とは異なります。暑さ指数(WBGT)は人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度、②日射・輻射(ふくしゃ)など周辺の熱環境、③気温の3つを取り入れた指標です。



上図のグラフからも暑さ指数(WBGT)が28°C(嚴重警戒)を超えると熱中症患者が著しく増加の様子が分かります。

※上図のグラフは、平成17年の主要都市の救急搬送データを基に日最高WBGTと熱中症患者発生率の関係を示したものです。



画像をクリックして暑さ指数(WBGT)について学ぼう

### ●暑さ指数の使い方

暑さ指数(WBGT)は労働環境や運動環境の指針として有効であると認められ、ISO等で国際的に規格化されています。(公財)日本体育協会では「熱中症予防運動指針」、日本生気象学会では「日常生活に関する指針」を下記のとおり公表しています。労働環境では世界的にはISO7243、国内ではJIS Z 8504「WBGT(湿球黒球温度)指数に基づく作業者の熱ストレスの評価-暑熱環境」として規格化されています。

### ●日常生活に関する指針

温度基準 (WBGT)	注意すべき生活活動の目安	注意事項
危険 (31°C以上)	すべての生活活動でおこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
嚴重警戒 (28~31°C※)		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28°C※)	中等度以上の生活活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25°C未満)	強い生活活動でおこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

※(28~31°C)及び(25~28°C)については、それぞれ28°C以上31°C未満、25°C以上28°C未満を示します。日本生気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.3」(2013)より

● 運動に関する指針

気温 (参考)	WBGT 温度	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31℃以上	運動は原則中止	WBGT31℃以上では、特別の場合以外は運動を中止する。特に子どもの場合は中止すべき。
31～35℃	28～31℃	厳重警戒 (激しい運動は中止)	WBGT28℃以上では、熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が上昇しやすい運動は避ける。運動する場合には、頻繁に休息をとり水分・塩分の補給を行う。体力の低い人、暑さになれていない人は運動中止。
28～31℃	25～28℃	警戒 (積極的に休息)	WBGT25℃以上では、熱中症の危険が増すので、積極的に休息をとり適宜、水分・塩分を補給する。激しい運動では、30分おきくらいに休息をとる。
24～28℃	21～25℃	注意 (積極的に水分補給)	WBGT21℃以上では、熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水分・塩分を補給する。
24℃未満	21℃未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	WBGT21℃未満では、通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必要である。市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注意。

(公財) 日本体育協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2013)より

● 作業者に関する指針

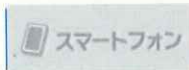
「作業者に関する指針」については、関連情報とあわせて、下記、厚生労働省のホームページをご参照ください。

- 熱中症を防ごう！
- 職場における労働衛生対策 (熱中症予防対策)

暑さ指数はなぜ有効なのか？



暑さ指数(WBGT)	熱中症	暑さ対策	参考資料
<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暑さ指数(WBGT)の実況と予測</li> <li>• 暑さ指数(WBGT)ランキング</li> <li>• 暑さ指数(WBGT)とは？</li> <li>• 生活の場の暑さ指数(WBGT)</li> <li>• 暑さ指数(WBGT)について学ぼう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 熱中症の予防方法と対処方法</li> <li>• 熱中症対策講習会資料</li> <li>• 熱中症環境保健マニュアル</li> <li>• 熱中症対策普及啓発資料</li> <li>• 関係省庁の取組</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暑熱環境のメカニズム</li> <li>• 暑熱環境を緩和させる様々な工夫や技術</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 暑さ指数と熱中症搬送者数</li> <li>• 暑さ指数の頻度集計ランキング</li> <li>• 熱中症リスクカレンダー</li> <li>• 関連リンク</li> </ul>



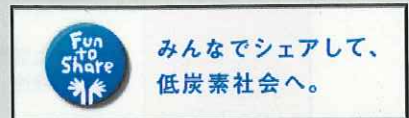
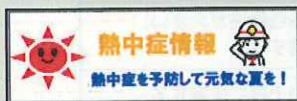
サイトマップ

ヘルプ

よくある質問

お問い合わせ

関連リンク



関連リンク一覧

# 熱中症 ～思い当たることはありませんか？～

熱中症の予防には、水分補給と暑さを避けることが大切です

## こまめに水分を取っていますか？

- ✕ のどの渇きを感じない
- ✕ 夜中にトイレに行くのが面倒だ

高齢者は、加齢によりのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。このため、のどの渇きを感じなくてもこまめに水分補給をする必要があります。

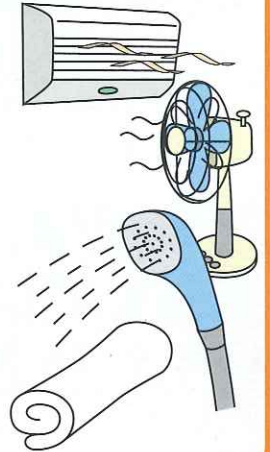
また、体に必要な水分の補給を我慢することは、特に危険です。



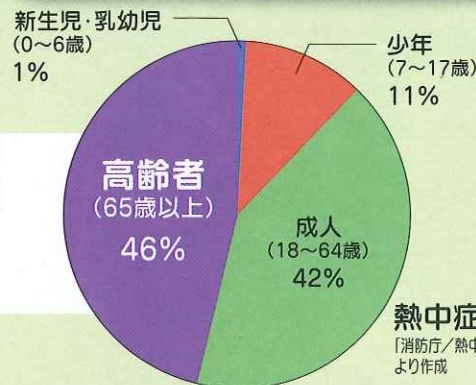
## エアコンを上手に使っていますか？

- ✕ エアコンは体が冷えるから嫌だ
- ✕ エアコン等が使えない

エアコンや扇風機は、温度設定に気を付けたり、体に直接あたらないよう風向きを調整するなど工夫をすると、体が冷えすぎず、快適に使うことができます。これらが使えない場合は、シャワーや冷たいタオルでも、体を冷やす効果があります。



## 熱中症患者のおよそ半数は高齢者(65歳以上)です



熱中症患者の年齢別割合  
〔消防庁/熱中症による救急搬送者の状況 2010年〕より作成

## 暑さに強いから大丈夫？

- ✕ 暑さをあまり感じない
- ✕ 汗をあまりかかない

高齢者は、暑さに対する感覚が鈍くなり、発汗など体から熱を逃がす機能も低下します。暑い日は無理をしない、室内でも温度計を置き、部屋の温度が上がりすぎていないか確認するなど注意しましょう。



## 部屋の中なら大丈夫？

- ✕ 部屋の中では熱中症対策をしていない
- ✕ 夜は特に注意していない

熱中症は、室内や夜間でも多く発生しています。すだれやカーテンで直射日光を遮る、換気をして屋外の涼しい空気を入れる、必要に応じてエアコン等を使用するなど、部屋に熱がこもらないように、常に心掛けましょう。



# 高齢者は特に注意が必要です。

## ①体内の水分が不足しがちです

高齢者は若年者よりも体内の水分量が少ない上、体の老廃物を排出する際にたくさんの尿を必要とします。

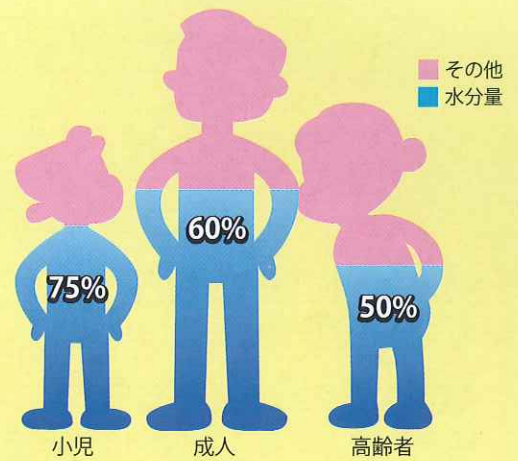
## ②暑さに対する感覚機能が低下しています

加齢により、暑さやのどの渇きに対する感覚が鈍くなります。

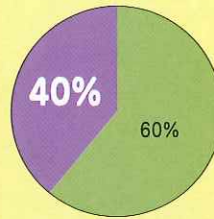
## ③暑さに対する体の調節機能が低下します

高齢者は体に熱がたまりやすく、暑い時には若年者よりも循環器系への負担が大きくなります。

※心臓や腎臓の悪い方や持病をお持ちの方は、かかりつけの医師にご相談下さい。



# 熱中症は、室内でも多く発生しています。夜も注意が必要です。



東京都		
	全患者数	夜間の患者数
小児	1500	127
成人	1096	98
高齢者	2080	188
総計	4679	413

注) 夜間は21時～6時

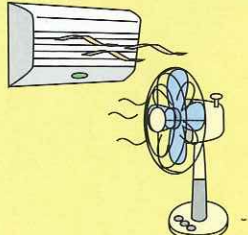
熱中症の発生場所(さいたま市, 2010年)  
提供: 国立環境研究所 小野雅司氏

夜間の熱中症患者数(東京都, 2010年)  
提供: 国立環境研究所 小野雅司氏

# 予防法ができているかをチェックしましょう。



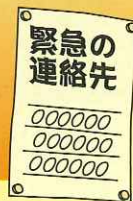
- こまめに水分補給をしている
- エアコン・扇風機を上手に使用している
- シャワーやタオルで体を冷やす



- 部屋の温度を測っている
- 暑い時は無理をしない
- 涼しい服装をしている  
外出時には日傘、帽子



- 部屋の風通しを良くしている
- 緊急時・困った時の連絡先を確認している
- 涼しい場所・施設を利用する

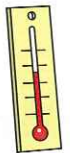


## 予防法メモ

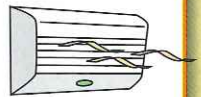
■寝る前だからと水分を我慢せず、こまめな水分補給を心掛けましょう。汗をかいた時は、適度な塩分補給も必要です。



■暑さを感じなくても、部屋の見やすい場所に温度計を置き、温度が上がったらエアコンをつけるなど、常に注意しましょう。



■エアコンや扇風機が苦手な人は、温度設定に気を付けたり、風向きを調節するなど工夫してみましょう。調節の仕方が分からない人は、身近な人に相談しましょう。



## メモ欄

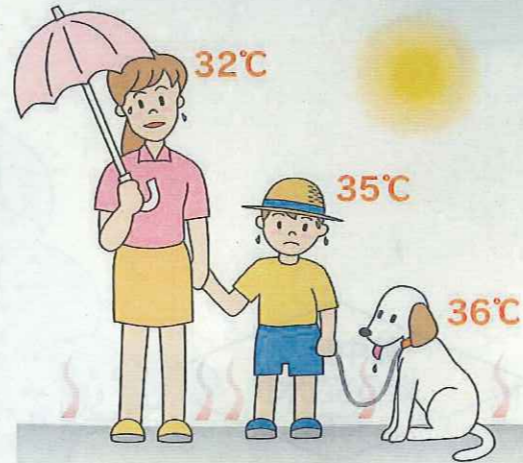
## 高齢者の注意点

- のどがかわかなくても水分補給
- 部屋の温度をこまめに測る



- 高齢者は温度に対する感覚が弱くなるために、室内でも熱中症になることがあります。
- 室内に温度計を置き、こまめに水分を補給することを心掛けましょう。

## 幼児は特に注意



- 幼児は体温調節機能が十分発達していないため、特に注意が必要です。
- 晴れた日には、地面に近いほど気温が高くなるため、幼児は大人以上に暑い環境にいます。

### ◆ 環境省熱中症情報に関するホームページ

[http://www.env.go.jp/chemi/heat\\_stroke/index.html](http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/index.html)

#### ◆ 熱中症環境保健マニュアル

[http://www.env.go.jp/chemi/heat\\_stroke/manual.html](http://www.env.go.jp/chemi/heat_stroke/manual.html)

#### ◆ 熱中症予防情報サイト

<http://www.wbgt.env.go.jp/>

#### ◆ 熱中症患者速報

<http://www.nies.go.jp/health/HeatStroke/spot/index.html>

#### ◆ 携帯サイト版 熱中症予防情報サイト

<http://www.wbgt.env.go.jp/kt/>

#### ◆ 携帯サイト版 熱中症予防カード

<http://www.env.go.jp/k/chemi/heatstroke/>



環境省総合環境政策局環境保健部 環境安全課  
〒100-8975 東京都千代田区霞が関 1-2-2 中央合同庁舎 5 号館  
TEL:03-3581-3351 (代表)

リサイクル適性の表示：紙へリサイクル可

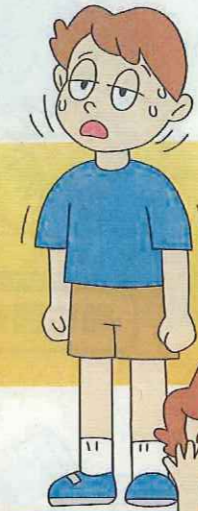
# 熱中症

## ～ ご存じですか？ 予防・対処法 ～

### こんな症状があったら 熱中症を疑いましょう

軽

めまい  
立ちくらみ  
筋肉痛  
汗がとまらない



中

頭痛  
吐き気  
体がだるい(倦怠感)  
虚脱感



重

意識がない  
けいれん  
高い体温である  
呼びかけに対し返事がおかしい  
まっすぐに歩けない、走れない

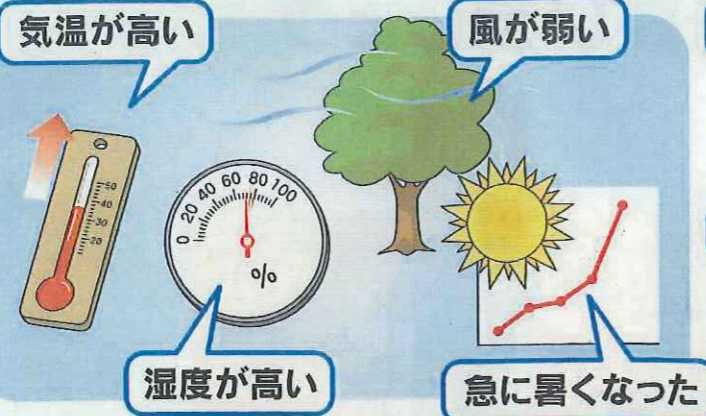


環境省

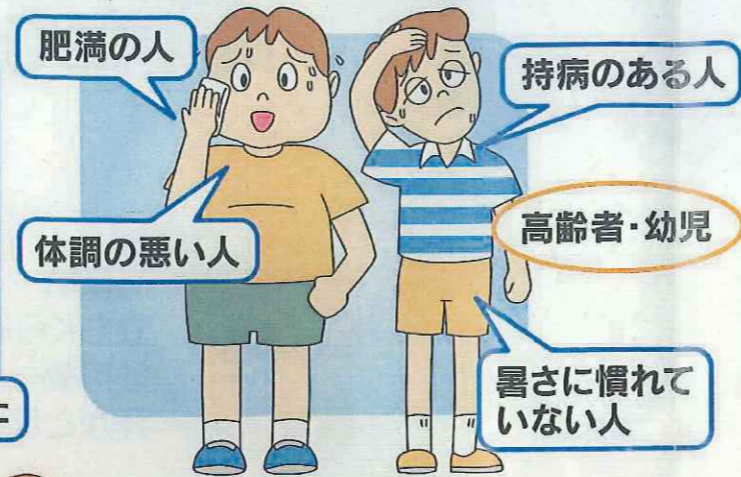
# 熱中症は予防が大切です

熱中症は気温などの環境条件だけではなく、人間の体調や暑さに対する慣れなどが影響して起こります。気温がそれほど高くない日でも、湿度が高い・風が弱い日や、体が暑さに慣れていない時は注意が必要です。

## こんな日は熱中症に注意



## こんな人は特に注意



## 熱中症の予防法



### \*急に暑くなった日や、活動の初日などは特に注意

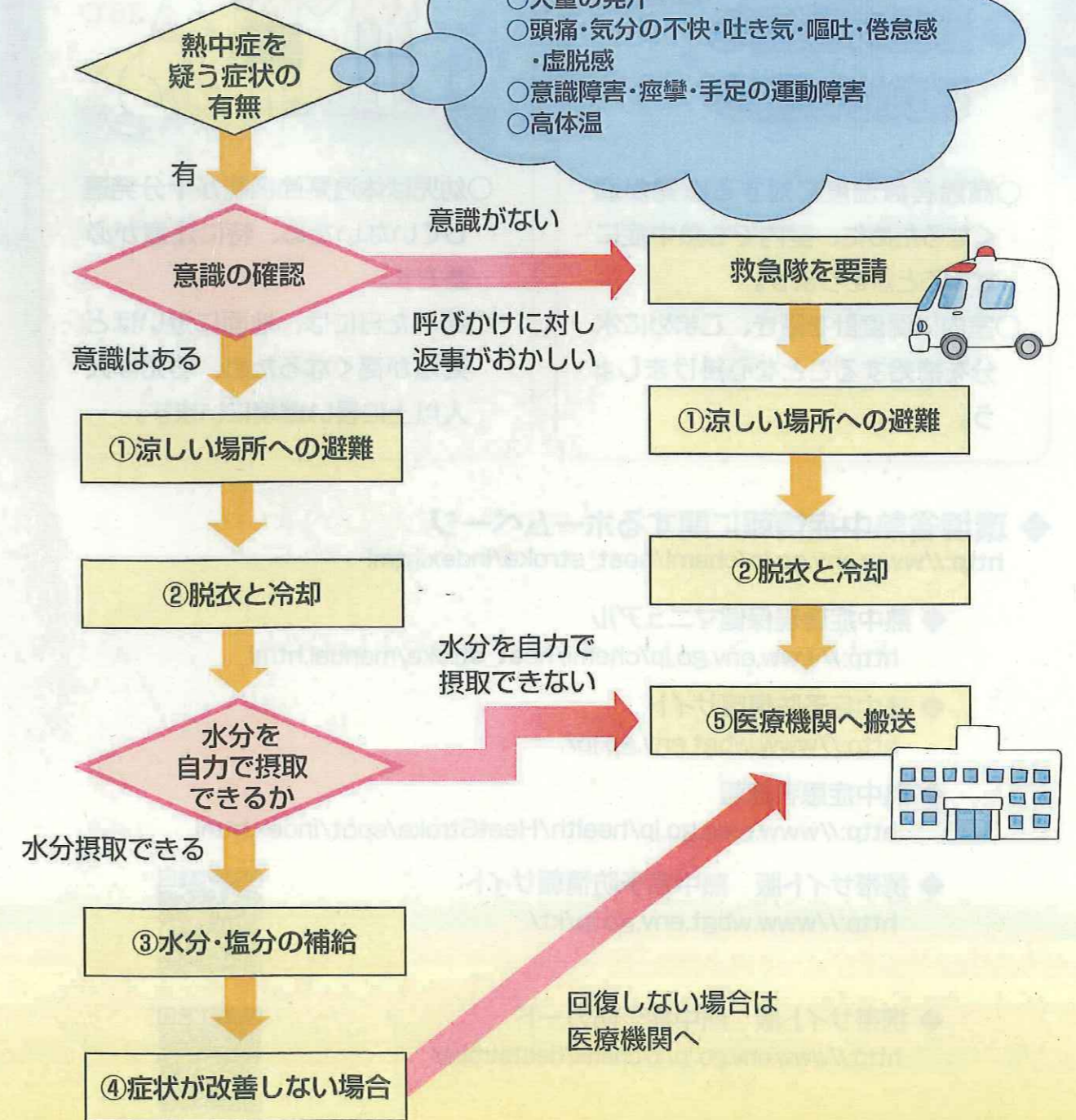
人間の体は暑い環境での運動や作業を始めてから3~4日経たないと、体温調節が上手になってきません。このため、急に暑くなった日や、久しぶりに暑い環境で活動した時には、体温調節が上手くいかず、熱中症で倒れる人が多くなっています。

### \*汗をかいた時には塩分の補給も忘れずに

# 熱中症になったときには

熱中症を疑う症状とは...

- めまい・失神
- 筋肉痛・筋肉の硬直
- 大量の発汗
- 頭痛・気分の不快・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感
- 意識障害・痙攣・手足の運動障害
- 高温





○デング熱はどんな病気？

- デング熱は、デングウイルスが感染しておこる急性の熱性感染症です。
- 潜伏期間は2～15日、多くは3～7日です。
- 発熱、頭痛、筋肉痛や皮膚の発疹などが主な特徴です。
- ワクチンやウイルスに対する薬はないため、対症療法となります。
- まれに重症化して、出血傾向やショック症状が見られることがあります。
- 感染した場合も、多くの場合、一週間前後で回復すると言われておりますので、過度な心配は必要ありません。
- ヒトからヒトではなく、患者から血を吸った蚊が媒介して他の人に感染します。
- 蚊に刺されて急な発熱等の症状がある場合は、かかりつけの医療機関などを受診してください。

○予防方法は？

- 国内では、ヒトスジシマカ（ヤブ蚊）がデング熱を媒介する可能性があります。
- 屋外では長袖・長ズボンを着用するなど、肌の露出をできるだけ避けることや虫刺され防止薬を適切に使用する、室内も蚊の駆除を心がけるなど、蚊に刺されないような工夫をしてください。
- 蚊の幼虫の発生源を作らないように注意してください。  
(蚊は、水辺に産卵するため、下水溝、廃タイヤの中や水桶等。)

# マダニが媒介する新しい感染症 SFTS (重症熱性血小板減少症候群)



タカサゴキラマダニ

**早期発見、早期治療が大切！！**

## 問1: SFTSってどんな病気？

2011年に初めて特定されたSFTSウイルスに感染する事によって引き起こされる病気で、6日～2週間の潜伏期を経て、**発熱、消化器症状**(食欲低下、嘔気、嘔吐、下痢、腹痛)をひき起こします。重症化すれば、死亡することもあります。

## 問2: どのように感染するの？

**SFTSウイルスを保有しているマダニ**に刺咬されることにより感染します。マダニの中でも、病原体を保有しているマダニは極めてまれですが、発症すると重症化するので十分気をつけましょう。この病気を媒介するマダニは、家ダニなどとは違う種類で、10mmほどの野山に生息しているマダニです。

## 問3: どのように予防すればいいの？

マダニに刺咬されないことが重要です。草むらや山など、ダニが生息する場所に行く場合には、**長袖・長ズボン・長靴、手袋、首にタオルを巻くなど、肌の露出をできるだけ少なく**することが大切です。虫除けスプレーも一定の忌避効果が得られます。ペットなどの身近な動物にも気をつけましょう。

**屋外活動後は入浴し、マダニが付着していないか注意深く全身チェック**しましょう。

## 問4: もしマダニに刺されたらどうしたらいいの？

マダニ類の多くは、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、数日間吸血します。無理に引き抜こうとすると、口器の一部が皮内に残ってしまうことがあるので、**医療機関で処置**してもらってください。刺咬された後**1～2週間は、発熱、嘔気、下痢などに注意し、症状があれば直ちに医療機関を受診**してください。

朝夕に体温を測り、裏面の体温表に記入し、熱が出たら直ぐに医療機関へ。

徳島県医学・感染症専門員 馬原 文彦先生監修

徳島県保健福祉部健康増進課感染症・疾病対策室

# ダニに刺されたら1週間くらい朝夕に熱を測りましょう

ダニに刺された		姓名												体重		kg
月	日	第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		第 日		
		朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	朝	夕	
体温																
40																
39																
38																
37																
36																
35																

## ヒトを刺咬しているマダニ



フタトゲチマダニ



タカサゴキララマダニ

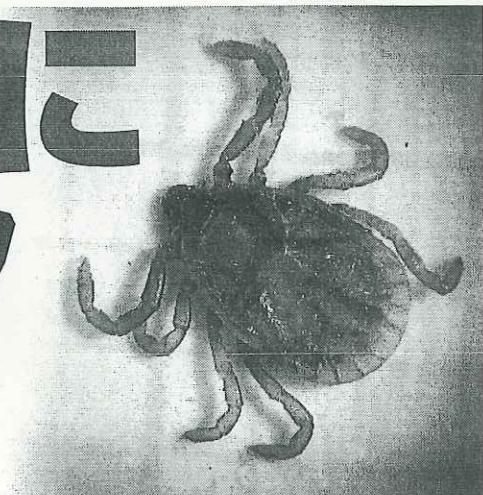


吸血すると3~15ミリ位に膨れる

(写真提供: 馬原アカリ医学研究所)

# 日本紅斑熱に 注意しよう!

2009年10月、岡山県で初めての  
日本紅斑熱が発生しました。



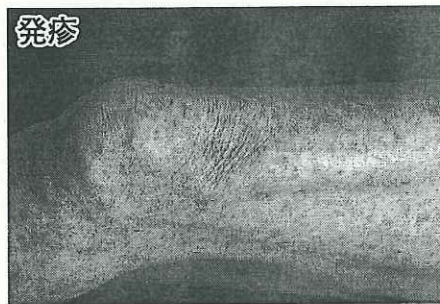
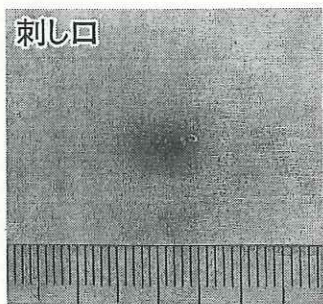
ヤマアラシチマダニ (成虫:3mm位)

写真提供: 広島県立総合技術研究所保健環境センター

## Q.どんな病気?

A. 全国では毎年100人以上の患者が報告されています。

リケッチア・ジャポニカという細菌によって発症する病気で、  
細菌を持っている野外のマダニに刺されることで感染します。  
夏から初冬にかけて多く発生しますが、真冬を除いて  
ほぼ1年中感染する可能性があります。



マダニに刺されてから  
2~8日後に高熱と発疹で  
発症します。  
重症の場合は  
死に至ることもあります。

写真提供: 馬原医院/馬原文彦氏

## Q.治療法は?

A. テトラサイクリン系の抗菌薬が有効です。

早期診断・早期治療がとても大切ですので、  
もしも、と思ったときはすぐに受診しましょう。

## ! マダニに気をつけよう!

- ・ 草むらなどに入るときは、長袖、長ズボン、手袋等を着用しましょう。
- ・ 肌の露出部分には、防虫スプレーを噴霧しましょう。
- ・ 地面に直接寝転んだり、腰を下ろしたりするのはやめましょう。
- ・ 帰宅後はすぐに入浴し、体を良く洗い、新しい服に着替えましょう。

# オキシダントにそなえて

## オキシダントとは

自動車や工場などから排出される窒素酸化物や揮発性有機化合物などが太陽光線を受けると光化学反応を起こし、オゾンなどの「光化学オキシダント」（酸化性物質）が作られます。

春から秋の晴れた日で、気温が20℃以上、湿度が75%以下、風速が5m/秒以下（無風～微風の状態）の条件が重なるとオキシダントが発生しやすくなります。

オキシダントの濃度が高くなると目やのどが痛くなったり、植物に悪い影響が出たりすることがあります。

## 高濃度になったら

県では、10の発令区域（裏面参照）を定めており、オキシダントが高濃度になった場合には、予報や注意報などを発令しています。この場合、保育所や学校、社会福祉施設などには県や市町から連絡を行うとともに、県民の皆さんにはテレビやラジオなどによりお知らせしています。

また、発令状況などをホームページや携帯電話などで情報提供を行っています。

徳島県大気監視情報	<a href="http://www.tokushima-hokancenter.jp/taiki/pc/top/">http://www.tokushima-hokancenter.jp/taiki/pc/top/</a>
大気汚染物質広域監視システム	<a href="http://soramame.taiki.go.jp/">http://soramame.taiki.go.jp/</a>
携帯電話による情報提供	<a href="http://www.tokushima-hokancenter.jp/taiki/k/top/">http://www.tokushima-hokancenter.jp/taiki/k/top/</a>

## 発令の基準

- 予報・・・オキシダント濃度が0.10ppm以上となり、注意報発令が予想される時。
- 注意報・・・オキシダント濃度が0.12ppm以上となり、この状態が継続すると認められる時。
- 警報・・・オキシダント濃度が0.24ppm以上となり、この状態が継続すると認められる時。
- 重大警報・・・オキシダント濃度が0.40ppm以上となり、この状態が継続すると認められる時。

\*ppmとは、parts per million の略で“100万分の1”を示す単位です。

たとえば、オキシダントが1ppmとは、1m<sup>3</sup>の空気中に1cm<sup>3</sup>のオキシダントが混入している状態をあらわします。

## 予報や注意報などが発令されたら

予報や注意報などが発令されたら

予報発令時・・・注意報に備えてテレビ、ラジオ等の報道に注意してください。

注意報発令時・・・乳幼児や児童、お年寄り、呼吸器疾患のある方などはできるだけ屋外に出ないようにしてください。

警報発令時・・・屋外の運動や作業を中止し、屋内に入り、窓を閉めてください。

※目やのどに刺激を感じた人は、水道水等で速やかに洗眼、うがいをして、最寄りの保健所や総合県民局又は市町村の環境担当（裏面参照）へ連絡してください。

オキシダント被害連絡先

機関	管轄地区	電話番号
東部保健福祉局 (徳島保健所)	鳴門区域、今切・板野郡・石井区域、徳島・小松島区域、 佐那河内・神山区域、勝浦・那賀区域(勝浦町及び上勝町に限る)	088-602-8901
東部保健福祉局 (吉野川保健所)	阿波・吉野川区域	0883-36-9016
南部総合県民局	阿南区域、海部区域、勝浦・那賀区域(那賀町に限る)	0884-28-9858
西部総合県民局	美馬区域、三好区域	(平日) 0883-53-2062 (休日:美馬保健所) 0883-52-1017

市町村名	電話番号	市町村名	電話番号	市町村名	電話番号
徳島市	直通 088-621-5213 休日 088-621-5111	鳴門市	直通 088-683-7571 休日 088-684-1111	小松島市	直通 0885-32-2147 休日 0885-32-2111
阿南市	直通 0884-22-3413 休日 0884-22-1111	吉野川市	直通 0883-22-2230 休日 0883-22-2230	阿波市	直通 0883-36-8711 休日 0883-36-8700
美馬市	直通 0883-52-8020 休日 0883-52-1212	三好市	直通 0883-72-3436 休日 0883-72-7600	勝浦町	直通 0885-42-1501 休日 0885-42-1501
上勝町	直通 0885-46-0111 休日 0885-46-0111	佐那河内村	直通 088-679-2115 休日 088-679-2115	石井町	直通 088-674-1116 休日 088-674-1111
神山町	直通 088-676-1113 休日 088-676-1111	那賀町	直通 0884-62-1121 休日 0884-62-1121	牟岐町	直通 0884-72-3414 休日 0884-72-1111
美波町	直通 0884-77-3613 休日 0884-77-1111	海陽町	直通 0884-73-4311 休日 0884-73-4311	松茂町	直通 088-699-8714 休日 088-699-2111
北島町	直通 088-698-9807 休日 088-698-2410	藍住町	直通 088-637-3116 休日 088-637-3111	板野町	直通 088-672-5987 休日 088-672-5987
上板町	直通 088-694-6813 休日 088-694-3111	つるぎ町	直通 0883-62-3112 休日 0883-62-3111	東みよし町	直通 0883-79-5340 休日 0883-82-6310

発令区域一覧

鳴門区域	鳴門市の全域
今切・板野郡・石井区域	徳島市川内町・応神町、松茂町、北島町、藍住町、板野町、上板町及び石井町の全域
徳島・小松島区域	徳島市のうち吉野川以南の地域及び小松島市の全域
佐那河内・神山区域	神山町及び佐那河内村の全域
阿南区域	阿南市の全域
勝浦・那賀区域	勝浦町、上勝町及び那賀町の全域
海部区域	美波町、牟岐町及び海陽町の全域
阿波・吉野川区域	阿波市及び吉野川市の全域
美馬区域	美馬市及びつるぎ町の全域
三好区域	三好市及び東みよし町の全域

ご質問、お問い合わせは

**徳島県県民環境部環境管理課**

徳島市万代町1丁目

電話088-621-2274

**徳島県立保健製薬環境センター**

徳島市新蔵町3丁目80

電話088-625-7506